

機能別オイルキャップの選び方

サイズ・用途のバリエーションが豊富なイマオのオイルキャップ。用途に合わせた選び方をご紹介します。

タンク内と外気圧を 同じにしたい!

タンク内の空気は自由に出入可。
スプラッシュガードでオイルの
飛散防止。



タンク内の気圧を一定の 範囲内に保ちたい!

粉塵の多い場所、絶えず揺れる
装置での使用が可能。



タンク内が真空になるのを 防ぎたい!

ガasket膜より空気が取込めるため
液体輸送用タンク等に最適。
タンク内液体の排出がスムーズに
行えます。



タンク内が高圧になるのを 防ぎたい!

外部の空気を吸収しない。圧縮
空気の排出が必要な装置などに
最適。



屋外で使いたい!

堅牢なスチールカバーで、
屋外での使用に適しています。



詳細は
こちら

P. 808 , 823 , ATEX 指令 オイルキャップ
P. 831 , 832

その部品、防爆ですか？

EU(ヨーロッパ)において、爆発の可能性があるエリアの機器には、ATEX 指令に準拠した製品を使用し、点火元となるスパークを発生させない部品を設置する必要があります。
化学プラント、塗装工場、ガソリンスタンドなどでも、ご使用いただける「イマオのオイルキャップ&ゲージ(防爆仕様)」で、安全な機器が構築できます。

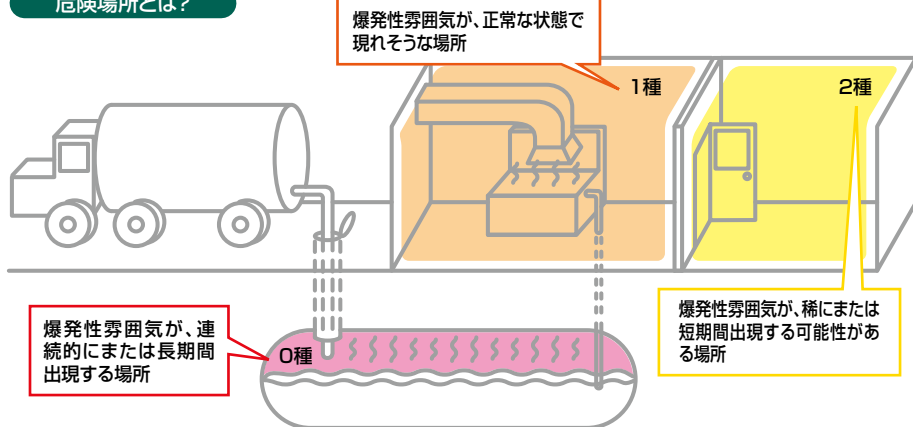
ATEX指令とは？

EUにおける、安全(防爆)に関する指令書です。爆発の可能性がある場所で使用される機器に対し、2003年7月より強制適用となりました。

ATEX 指令 Directive 2014/34/EU

Equipment and Protective Systems intended for use in potentially Explosive Atmospheres
(爆発の可能性がある雰囲気内での使用を目的とした機器および防護システム)

危険場所とは？



ATEX製品の表示

製品には、下記のようなATEX指令に準じた防爆の識別が表示されています。

Ⓔ Ex II 2 GD Ex h X



表示項目	記号	記号の意味
認証マーク	Ⓔ Ex	ATEX指令に準拠
機器グループ	II	鉱山以外の爆発性ガス雰囲気が存在する場所での使用を目的とした機器
製品保護レベル	2	ZONE 1 (1種場所) : 通常の状態において、危険雰囲気を生成するおそれがある場所 >10~1000時間 / 年
危険源	G	可燃性ガスや蒸気
	D	可燃性粉じん
防爆構造	Ex h	非電気機器の保護構造 (k 液体充填)
使用機器	X	特殊使用条件あり

使用される周囲および流体温度

max.80℃ min.-20℃

ATEX指令の要求事項について

ATEX指令の要求事項に、製品が使用される国において理解可能となる言語で記載された取扱説明書の同梱、または電子データの提供があります。

ATEX指令について明記された取扱説明書は、当社 WEBサイトの各製品ページからダウンロードして頂けます。
(取扱説明書言語：英語、ドイツ語、イタリア語、フランス語)